



九州における木材の土木利用に関する講習会 2022

～外構構造物の新設と保全技術～

(対面・オンライン併用)

九州橋梁・構造工学研究会(KABSE)は、土木学会西部支部と共催で、財団法人福岡県建設技術情報センターの講習会等助成事業の助成により、以下の講習会を開催いたします。

SDGsにより森林保全と木材利用の機運が高まっています。木材は、構造材としての性能は十分である上、地域に豊富に蓄積されている資源を活用することから地域活性化や環境保全にも貢献できます。このような背景から、土木分野でも木材を活用した事例が増えつつあります。

本講習会では、外構木構造物の新設と保全技術に関する最新事情を全国で活躍する2名の講師に紹介いただくとともに、研究会メンバーが取り組む新設と保全に関する2件の事例を紹介します。多数のみなさまにご聴講いただきますようご案内申し上げます。

- 名 称 九州における木材の土木利用に関する講習会 2022
～外構構造物の新設と保全技術～
- 主 催 (一社)九州橋梁・構造工学研究会
- 共 催 (公社)土木学会西部支部
- 後 援 福岡県※ (一社)日本木材学会九州支部
(公社)日本木材加工技術協会九州支部
(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部
(公社)日本技術士会九州本部 (一社)木橋技術協会
- 日 時 2022年7月1日(金)14:00～17:00
- 会 場 電気ビル共創館カンファレンスルームC(福岡市中央区渡辺通2-1-82)
※オンライン受講もできます。
- 参 加 費 2,000円
- 継 続 教 育 土木学会 CPD プログラム(JSCE22-0597/2.7単位)
※建設系 CPD 協議会認定プログラムです。なお、CPDS(全国土木施工管理技士会連合会)等、オンライン受講ではCPDが取得できないものがあります。
- 参 加 申 込 参加者氏名、所属、連絡先(メールまたは電話番号)、会場受講またはオンライン受講をKABSE事務局までメールでお知らせください。会場受講40名、オンライン受講80名まで受け付けます。締め切りは6月24日です。
- 申し込み先 812-0004 福岡市中央区渡辺通1-1-1 サンセルコビル6F
(株)長大 福岡支社内
九州橋梁・構造工学研究会事務局
メール:jim@kabse.com Tel/Fax:092-737-8570

感染症対応 感染状況によっては、完全オンラインに切り替えることがあります。あるいは中止にすることがあります。この場合はKABSEホームページでお知らせします。



九州における木材の土木利用に関する講習会 2022 ～外構構造物の新設と保全技術～

日時 2022年7月1日(金) 14:00～17:00
会場 電気ビル共創館カンファレンスルーム C

プログラム

14:00～14:05 開会あいさつ

14:05～14:45 脱炭素社会に向けた木材利用の動向

原田 浩司氏(木構造振興株式会社(株))

14:45～15:25 土木分野における木材利用の最新事情

佐々木 貴信氏(北海道大学大学院教授)

(休憩)

15:40～16:00 公園等における近年の木橋の改修事例

斉藤 隆志(アリモト工業)

16:00～16:40 クリーク護岸の木製化と耐久性の検証

藤本 登留(九州大学)

片桐 幸彦(福岡県農林業総合試験場資源活用研究センター)

渡辺 浩(福岡大学)

16:40～16:55 総合討論

16:55～17:00 閉会あいさつ